

運慶

特別展

女人の作善と鎌倉幕府

運慶と鎌倉幕府をめぐる女人達の関係と
運慶と京・鎌倉をめぐる活動を作品から読み解く

神奈川県立金沢文庫

令和6年11月29日(金)～令和7年2月2日(日)

【開館時間】 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【休館日】 毎週月曜日(ただし1月13日は開館)、年末・年始12月28日(土)～1月4日(土)、1月14日(火)

【主催】 神奈川県立金沢文庫 【共催】 横須賀美術館

【特別協力】 鎌倉国宝館 【後援】 朝日新聞社

特別展 運慶

女人の作善と鎌倉幕府

令和6年11月29日(金)～令和7年2月2日(日)

運慶は日本史上最も著名な、卓越した技量をもつ仏師であり、鎌倉時代初期に、新政権である鎌倉幕府と密接に結びつくことで活躍したことが知られています。また運慶の造仏は、実は北条政子や大貳局など、鎌倉幕府の有力な女性たちとも密接に結びついていました。

本展覧会では、改めて運慶と女性の関係に焦点を当ててご紹介します。展示では、運慶の造仏と、それに伴う造寺や仏事など、女性たちの信仰との関係のありようの一端を明らかにすることが出来るでしょう。

※文化財保護のため会期中一部展示替があります。詳しくはHPでご確認ください。



観音・勢至菩薩立像 清水寺(京都) 重要文化財
京都における鎌倉時代初期の運慶工房作とみられる

勢至菩薩坐像 個人蔵
京都における鎌倉時代初期の運慶工房作か



薬師如来坐像 寿福寺(神奈川) 重要文化財
北条政子発願で原型は運慶工房作とみられる

阿弥陀如来坐像 願生寺(静岡)
運慶作浄栄寺阿弥陀如来坐像に酷似する注目作

地藏菩薩坐像 康慶作 瑞林寺(静岡) 重要文化財
運慶の父が治承元年(1177)東国武士のために造像

【特別講演会・講座】
特別展「運慶」に関連して、特別講演会・連続講座・月例講座もあわせて開催します。詳細は後日ご案内いたします。神奈川県立金沢文庫HPをご覧ください。

【観覧料】()内は20名以上の団体料金
20歳以上 800円(700円)
20歳未満・学生 600円(500円)
65歳以上 200円(100円)
高校生100円、中学生以下・障がい者の方は無料

神奈川県立金沢文庫

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142
TEL 045-701-9069 FAX 045-788-1060
<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/kanazawa.htm>

【交通】
◆京急線「金沢文庫駅」東口より徒歩12分(快特で品川駅より33分、横浜駅より16分)
◆シーサイドライン「海の公園南口駅」より徒歩10分(JR根岸線 新杉田駅接続)

3館連携・協力展示「運慶と鎌倉」
鎌倉国宝館
特集展示 鎌倉の伝運慶仏
一教恩寺阿弥陀如来及び両脇侍立像修理完成記念—
令和6年10月19日(土)～12月1日(日)
横須賀美術館
運慶展 運慶と三浦一族の信仰
令和6年10月26日(土)～12月22日(日)

次回予告
特別展 慶珊寺と富岡八幡宮の名宝
—『大般若経』が語る中世東国史—
令和7年2月7日(金)～3月23日(日)



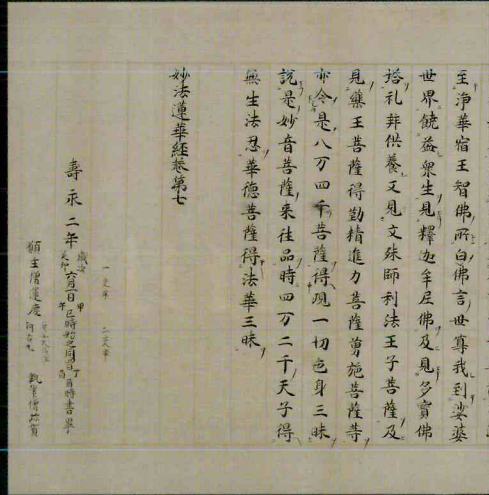
鬼瓦 鎌倉市教育委員会
鎌倉永福寺出土で原型は運慶工房作とみられる

抜頭面 運慶作 瀬戸神社 重要文化財
建保七年(1219)運慶が夢想により製作

四天王立像(持国天) 海住山寺(京都) 重要文化財
解脱上人貞慶ゆかりの四天王像で運慶工房作とみられる



十二神将立像 曹源寺(神奈川) 重要文化財
運慶工房作の十二神将立像を一挙公開



法華経 真正極楽寺(京都) 国宝
寿永二年(1183)に運慶が発願した丁重な写経